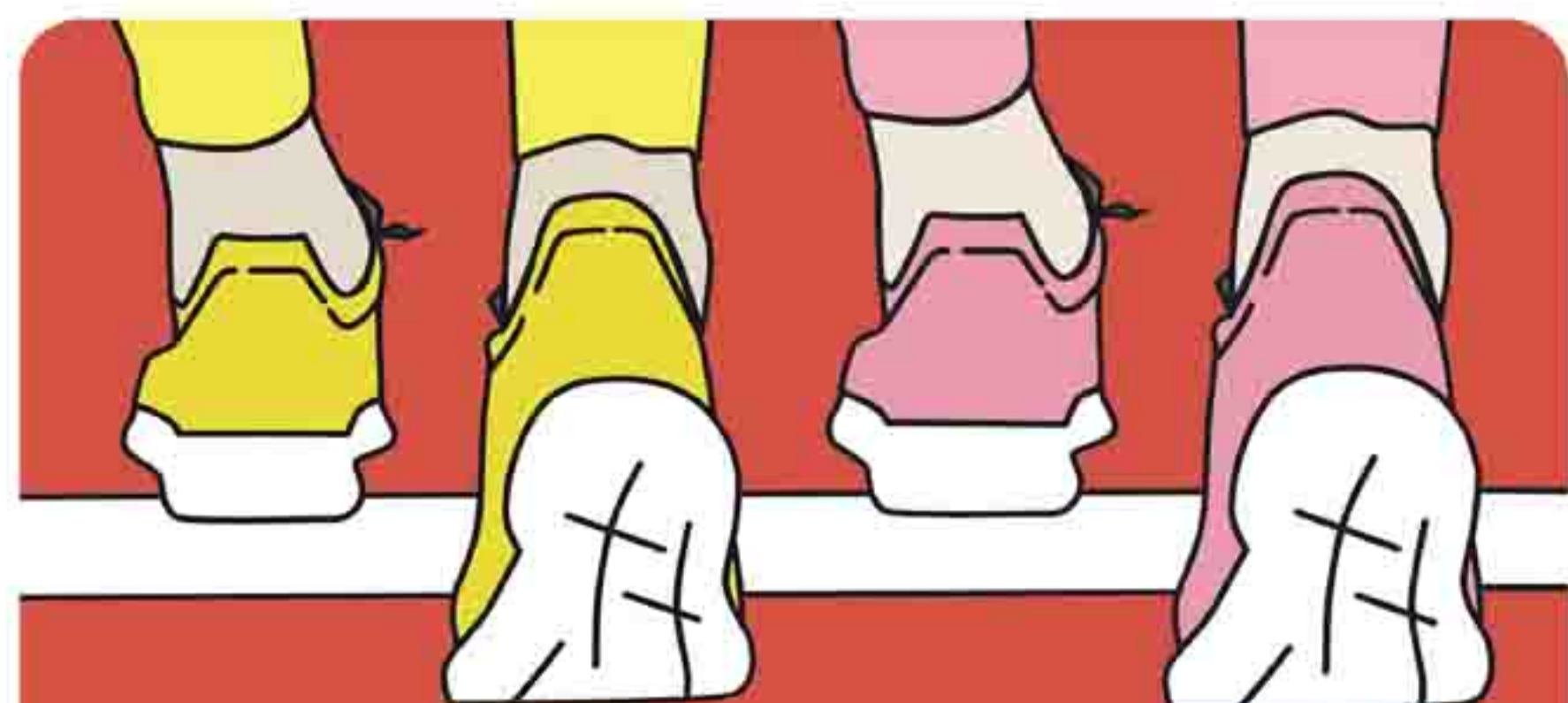




アート活動をはじめようとする事業所のファーストステップに伴走する企画

本企画はこれまでアート活動に関わったことのない事業所や障害のある方にアート活動を体験する機会を持っていただくことを目的にスタートしたパズレル主催プロジェクトです。

取組事例1 ひなたぼっこ (山口県)

招聘アーティスト 村川 博司 さん、隅野 繁夫 さん、三芳 隆資 さん

実施内容 竹を使ってアート活動をしてみよう!

子どもたちの自信に繋がった事例

私たちは、様々な大きさ・長さの竹を使ってジャングルジムや装飾品などを制作するワークショップを企画しました。当日は子どもたちがうまく入り込めるかドキドキでしたが、そんな心配もすぐに消え、子どもたちの方が積極的に大人と関わりながら楽しい時間を共有し、あっという間の1日でした。実施後に設けた2週間の展示期間中、自分達も関わって作ったという思いから、参加できなかった友達に色々説明したり使い方を見せたりする姿は、自信に満ち溢れた様子でした。今後も今回のような企画をたくさん取り入れながら、自分達でもできる、自信が持てる活動を実施していきたいと思います。

活動の様子



取組事例2 つくしんぼ作業所 (広島県)

招聘アーティスト 玖島 雅子 さん

実施内容 ダンスワークショップ『バリケード・ダンス』

型に捉われない体験を通して活動の視野が広がった事例

長机をバリケードのように積み上げてその周りに色を染み込ませたトイレットペーパー、毛糸、スズランテープなどを巻いたり投げたりして壁にするなど、カラフルでこの場でしかできないバリケードハウスをみんなで作りました。完成したバリケードハウス内で全員で踊ったり、1人1人が即興で踊ったりしました。今回の事業をきっかけに、いろいろなアートがあって自己表現できるものがある、何でもできちゃう!ということが体験でき、今後の活動の視野が広がりました。

活動の様子



活動の様子



取組事例3 児童デイこころ国府 (徳島県)

招聘アーティスト 原田 たけし さん、嵯峨山 高広 さん

実施内容 こころのねずこ制作

アート活動がコロナ禍による活動の狭まり感を払拭するきっかけとなった事例

コロナ禍で活動の狭まり感や新しいことへチャレンジすることの難しさを感じていたところに本企画のことを知り、参加させていただきました。絵本作家の原田たけしさんにお声がけし、ご本人による絵本の読み聞かせに加えて、事前に用意していただいた白のダンボールのねずこ(子供たちが好きな絵本の登場人物)に色を塗るワークショップを行いました。「児童デイこころ」と「児童デイこころ国府」を統合して初めての大きな行事になりましたが、児童たちは新しい内容に臆することなく、積極的に取り組んでいました。

取組事例4 ゆずぽっぷ (香川県)

招聘アーティスト mimika さん

実施内容 mimikaクリスマスライブ

利用者さんの想いが実現した事例

利用者さんがもっと多くの体験をし、いろいろな人と触れ合って世界を拡げていけたら、と思い応募しました。アーティストとしてmimikaさんを招聘し、一緒に歌ったり踊ったり、パネルシアター、けん玉大会など盛りだくさんの内容でした。以前からmimikaさんの大ファンである中学生の男子は、ご家族勢揃いで来てくださり、弟さんとともにけん玉大会に挑戦し、場を盛り上げてくれました。長年、mimikaさんの追っかけをしていたご夫婦は、ご主人の難病によりライブに行けなくなっていました、デイサービスでまさかの再会! mimikaさんと3人で感激のあまり大泣き、といった場面もありました。今後は、美術、演劇、音楽など多方面からアーティストさんをお招きし、利用者さんに楽しい世界をもっともっと知って欲しい、そんな思いでいっぱいです。

活動の様子

